

令和3年3月19日
消防局横浜市民防災センター

風水害体験ツアーにARを活用した最新技術を導入！

風水害による「逃げ遅れゼロ」を目指します！

横浜市民防災センターでは、4月1日より風水害体験ツアーにAR（拡張現実）を取り入れ、基本コースの内容を拡充します。さらに、「共助コース」も新設し、風水害について学べる内容を充実させます。

風水害の怖さや、避難のタイミングなどを知っていただくことで、「逃げ遅れゼロ」の実現を目指します。

1. ARを活用した風水害体験ツアーについて

「今ここが浸水したらどうなるの？」「浸水深2mって家の中はどうなるの？」など、これまでイメージが難しかったものが、今いる場所にCGを重ねて確認することにより、風水害の危険性を理解することができます。



ARを取り入れた2種類の基本コースを用意します。

※ARとは、実存する風景にCGを重ねて表示する技術

基本コースの内容(60分)

基本Aコース



①ARを活用した
減災トレーニング



②風水害シアター



③マイ・タイムライン

基本Bコース



①風水害シアター



②ARを活用した
マイ・タイムライン作成*

*マイ・タイムライン作成時に
ARを使ってどのくらい浸水するか確認します。

裏面あり

2. 共助について学べるコースを新設！

新たに共助について学べる「共助コース」を3月19日に新設します。

共助コースでは基本コースで作成した「マイ・タイムライン」を参考に、共助について考えながら学べる「共助想像ゲーム」を加えた120分のコースとなります。

共助想像ゲームでは、風水害の危険を地図上で読み取り、災害発生前にできる具体的な「共助」の行動について学ぶことができます。

new

共助コース《120分》



①ARを活用した減災トレーニング



②風水害シアター



③マイ・タイムライン

基本コース《60分》



④共助想像ゲーム

※4月以降はARを活用したコースとなります。

3. 学生と共同制作 風水害VRの開始！

岩崎学園横浜デジタルアーツ専門学校の学生と横浜市民防災センターが共同で制作した「風水害VR」体験を3月26日より市民防災センターで開始します。

風水害VRは、3つのステージ（自宅、住宅街、ビル街）において、リアルな災害体験とともに正しい避難行動について学べるコンテンツです。



【予約方法】

受付時間 9:15～17:00

予約専用TEL: 045-411-0119

FAX: 045-312-0386

メール: sy-kengaku@city.yokohama.jp

体験プログラム予約受付期間: 来館希望日の6ヶ月前から1週間前まで

体験ツアー予約受付期間: 来館希望日の6ヶ月前から当日まで



防災センターwebサイト

※取材を希望される方は、下記連絡先に事前連絡のうえご来館ください。

お問合せ先

消防局横浜市民防災センター所長 今山 徹 Tel 045-312-0119